

逗子市椋山の蘆花記念公園内のフリースペース「遊悠楽舎」(14日付18面で紹介)を取材で訪れたとき、公園の静かな自然の中に「こんちは」とあいさつすると、居合わせた三、四人の子供たちから元気な声が返って

「こんちは」とあいさつすると、居合わせた三、四人の子供たちから元気な声が返って

「こんちは」とあいさつすると、居合わせた三、四人の子供たちから元気な声が返って

と詠める施設の名称に、古代中国の竹林の賢人たちの姿がほろふつとする。



大人も「遊悠モード」

きた。

不登校、引きこもりと呼ばれる生徒たちが通うフリースクール、フリースペースは全国的に急増中だという。両者の違いを「遊悠楽舎」の明石紀久男代表に聞くと、「カリキュラムを用意している

徒たちが通うフリースクール、フリースペースは全国的に急増中だという。両者の違いを「遊悠楽舎」の明石紀久男代表に聞くと、「カリキュラムを用意している

(西村 正之)